# FT NIKKEI UK EKIDEN YEAR 3 REPORT

RUN BY YOURSELF BUT NEVER ALONE

FT FINANCIAL TIMES　NIKKEI

駅伝 3 UK EKIDEN

## FT日経UK駅伝について

日本発祥の「駅伝」を通じて、日英、そして世界をつなぐ新たなプラットフォームを英国で展開しています。2024年のスタートから今年で3年目を迎え、スポーツを起点に、教育、ビジネス、地域社会、文化、そして国際交流へと活動を広げています。

毎年6月に開催する英国全国大学対抗駅伝、企業・地域社会対抗部門による駅伝をフラッグシップに、英国全土へ広がる学校向けミニ駅伝や、各分野での取り組みを通じて、スポーツへの参加、国際交流、新たな事業機会創出など、さまざまな機会を創出しています。

**「私たちの挑戦は、始まったばかりです。
今後、チームやビジネスパートナーの皆様とともに、大学、企業、そして地域社会を世代を越え、UK駅伝をさらに発展させていきます。これからの展開に、ぜひご期待ください。」**
アンナ・ディングリー UK駅伝 創設者

**2.6M** コンテンツ視聴数

**54k** レース動画視聴数

**350** 350人の選手 35チーム

**200+** メディア言及

**1300** 応援観客数

**112KM** 総距離

## 目次


1. UK's Premier Relay Championship 大学対抗部門／企業・地域社会対抗部門
2. 英国を象徴するコース
3. パートナー企業紹介
4. 英国・日本パートナシープ文化交流 サポーター紹介
5. ソーシャルメディア、国内外メディア報道
6. フィナンシャル・タイムズ紙面広告
7. 英国全土の小・中高生へ広がる「ミニ駅伝」日英文化交流を次世代へ
8. 第3回提携パートナー 石川県と慈善団体モルキュア」
9. "駅伝の父" 金栗四三氏の名を冠した「金栗カップ」誕生
10. 英国、日本、そして世界各地でコミュニティが拡大中




**FT日経UK駅伝3年レース映画**
**WIN AS ONE**
**YouTubeで配信中**

# FT NIKKEI UK EKIDEN YEAR 3 REPORT

FT FINANCIAL TIMES NIKKEI

駅伝 3 UK EKIDEN

## 大学対抗部門

**17** 出場校。英国、ウェールズ、スコットランド、日本

**170** 大学生選手参加数

**5/5** 10区。男子5名、女子5名

**9** 今年度大会予選落ち大学数

### WINNERS

| | | |
|---|---|---|
| 1ST | Oxford University | 06:49:01 |
| 2ND | University of Exeter | 06:52:19 |
| 3RD | Cardiff University | 07:03:03 |
| | 立命館大学（ゲスト出場） | 06:50:59 |

### 4TH-8TH POSITION TEAMS
**シード権獲得校**

4th University of Birmingham
5th University of Bath
6th Newcastle University
7th University of Leeds,
8th UCL

### 出場大学チーム（アルファベット順）

1. Cambridge University
2. Cardiff University
3. Durham University
4. Imperial College London
5. King's College London
6. Loughborough University
7. Newcastle University
8. Ritsumeikan University *(guest team)*
9. Royal Holloway University
10. University of Bath
11. University of Birmingham
12. University of Bristol
13. University College London (UCL)
14. University of Edinburgh
15. University of Exeter
16. University of Leeds
17. University of Oxford





# UK'S PREMIER RELAY CHAMPIONSHIP

FT FINANCIAL TIMES NIKKEI

駅伝 UK EKIDEN

## 企業・地域社会対抗部門

### WINNERS

| | | |
|---|---|---|
| 1ST | Marsh | 08:07:17 |
| 2ND | Team ASICS & Special Guests | 08:10:25 |
| 3RD | SiS | 08:23:20 |




### 企業および地域社会チーム

1. FT Nikkei Hayabusa
2. FT Nikkei Yamabiko
3. FT Nikkei Hikari
4. ASICS & Special Guests
5. ASICS FrontRunners
6. ABeam Consulting
7. Arcus Investment
8. Daiwa Capital Markets Europe
9. Sports Ground
10. Japan Airlines
11. Kikkoman Group UK
12. Marsh
13. Team SiS
14. Suntory Global Sprinters
15. UCC Brew Crew
16. Royal Air Force
17. State Visit Legacy Team
18. Storytellers

**18** 出場チーム数
ランナー180人

**15** 参加者国数






# ICONIC ROUTE ALONG THE THAMES

## 英国を象徴するトレイルコース

FT日経UK駅伝は、天皇皇后両陛下の英国国賓訪問に合わせ、2024年6月にスタートしました。初年度は、両陛下が留学されたオックスフォードから、英国王室ゆかりの地ウィンザーまで、日英両国にゆかりの深い土地を、美しいテムズ川を通じて結ぶ象徴的なルートとなりました。

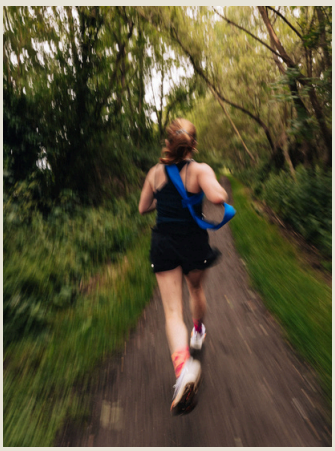
2025年からは、ウィンザーを起点にレディングまでを往復する全長約112kmのコースを採用。テムズ川沿いの美しいトレイルを走り、天皇陛下の著書『テムズとともに―英国の二年間』にも描かれたヘンリー・オン・テムズを通過します。日英の歴史とつながりを感じられるこのルートは、FT日経UK駅伝を象徴する舞台の一つとなっています。



Windsor Castle view from race village







# BUILDING THIS TOGETHER

FT日経UK駅伝は、スポンサー企業の皆様との力強いパートナーシップに支えられています。皆様からの継続的なご支援により、毎年の駅伝大会の開催に加え、大学チームの参加促進、企業間ネットワークの構築、ミニ駅伝プログラム、さらには次世代の育成や
地域社会とのつながりを生み出す地域貢献活動など、年間を通じた
さまざまな取り組みが実現しています。

NIKKEI　FT FINANCIAL TIMES

asics

ABeam Consulting　Arcus　Daiwa Capital Markets　JAPAN AIRLINES　kikkoman seasoning your life

MARSH　SiS SCIENCE IN SPORT　SPORTS GROUND　SUNTORY GLOBAL SPIRITS　UESHIMA COFFEE COMPANY ・KOBE 1933・

## TOP 6 REASONS WHY COMPANIES PARTNER WITH THE UK EKIDEN

- 高付加価値顧客層との接点の創出
- ビジネスネットワーキング
- チームビルディングと従業員のエンゲージメント
- 企業ブランド認知度
- 次世代支援
- 企業の社会的責任（CSR）とボランティア活動

### 企業参加者の声「一番印象に残った出来事」

「たくさんの素敵な人たちに出会えたこと、本物の駅伝に参加できたこと、そしてこんな素晴らしい場所で走れたこと」

「一つのイベントでスポーツのあらゆる極限が表現されているのを目にすることができました。大学側のコースでエリート選手たちが競い合う姿、そして応援する人々やランナーたちの喜びを目の当たりにしました！」

「ヘンリーを響き渡るドラムの音の中駆け抜けた事、そしてクマのパディントンがゴールで応援してくれたことが印象強く残っています」

# SUPPORTERS & COMMUNITY TEAMS

## 英国と日本のパートナーシップと文化交流

FT日経UK駅伝は、企業パートナーに加え、日英両国の政府機関や関係団体からも幅広い支援を受けています。今年は3つの特別チームを迎えました。駅伝を通じて、日英両国の強い友好と協力関係、そして国境を越えて襷をつなぐチームワークの精神を共有しました。

### ストーリーテラーズチーム

駅伝の精神を体現するレジェンドたち、そして駅伝のストーリーを伝える特別編成チーム

- **2度のパラリンピック金メダリスト、リチャード・ホワイトヘッド**
- **オリンピック3回出場、ステファニー・トゥエル-**
- **「駅伝マン」著者アダラナンド・フィン、そしてデヴィッド・スミス、ミーガン・ボクソールなどの作家たち**
- **オックスフォード大学副学長アレクサンダー・ベッツ**
- **石川県代表、六角颯琉くん、出雲千聖さん**







### 国賓訪問レガシーチーム

2024年の天皇皇后両陛下の英国公式訪問を祝うために、日英政府・王室関係者によるパートナーシップチームが結集しました。

### イギリス空軍チーム

日英の緊密な協力、共通の価値観、そして永続的なパートナーシップに基づいて築かれた、英国と日本の強固で発展し続ける友好関係を象徴するものです。

British Embassy Tokyo
MUSUBI
Embassy of Japan in the UK
MOMIJI
JNTO
東京倶楽部
WAJOY
BLICK ROTHENBERG a part of AZETS
FUJIFILM Value from Innovation
LINLEY
SAPPORO
ビーバー

# AUDIENCE REACH & MEDIA IMPACT

## ソーシャルメディア、国内外のメディア報道

### ソーシャルメディアの活用

UK駅伝は、長距離走競技ファン、大学、企業、日英コミュニティなど、関連性の高い層への認知度を高めました。メディアパートナーやクリエイター、ランニングや文化のインフルエンサーとの連携により、UK駅伝の認知度は国際的に大幅に拡大しています。

**2.5M** コンテンツ視聴数

**166K** アカウントリーチ

**35.9K** エンゲージメント

### メディア報道

英国と日本における多くの報道機関で取り上げられました。

**200+** メディア言及

**53K** リリース後２週間の大会動画再生数

- Financial Times
- Nikkei Newspaper 日経新聞
- The Times
- BBC Radio Berkshire
- Nihon TV　日本テレビ
- Life at FT
- Yomiuri Newspaper　読売新聞
- Oxford Mail
- Edinburgh News
- Workingham Today
- Sustain Health Magazine
- Sustain Health Magazine
- Yahoo! Japan Yahoo!ジャパン
- Nagasaki Newspaper　長崎新聞
- Kahoku Shinpo 河北新報
- Iwate Nippo　岩手日報
- Nikkei Runners Salon 日経ランナーズサロン
- Runners Magazine 月刊ランナーズ
- Hokkoku Toyama Newspaper　北國富山新聞
- Hokkoku Toyama Newspaper　北國富山新聞
- Hokkoku Toyama Newspaper　北國富山新聞
- Mainichi Newspaper　毎日新聞
- Chunichi Newspaper 中日新聞
- Tokyo Newspaer 東京新聞
- West Japan Newspaper 西日本新聞
- Others　他多数




55万　日本テレビ報道動画再生数



# AUDIENCE REACH & MEDIA IMPACT

## PREMIUM ADVERTISEMENT

### フィナンシャル・タイムズ紙一面広告（4回）

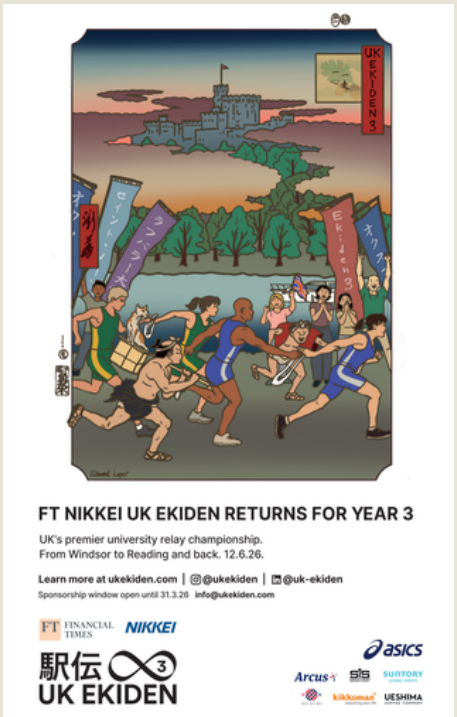
スポンサー企業のロゴは、フィナンシャル・タイムズ紙に掲載された4回の全面広告に掲出され、世界のビジネスリーダー層への幅広い露出機会を創出。FT日経UK駅伝を通じて、日英をつなぐ国際的なスポーツイベントとの結びつきを発信しました。




JUNE 2026




MAY 2026




FEB 2026




JUNE 2026




**750K**

**フィナンシャル・タイムズ週末版における閲覧者数**






# EDUCATION & CULTURAL EXCHANGE

## 英国全土の小・中高生へ広がる「ミニ駅伝」日英文化交流を次世代へ

### 広がるミニ駅伝参加

UK駅伝は、駅伝の精神を小学校や中高生などの次世代や地域社会へ紹介することで、大学・企業対抗駅伝競技当日だけでない、世代と国境を超えたつながりを広げています。




**50** **英国全国の小学校、中高がミニ駅伝に参加。**

駅伝と日本文化を体験してもらい、駅伝選手を応援してもらうことで、次世代のランナーたちに刺激を与えました。



### 音楽を通じた文化交流

英国と日本の奏者による和太鼓や百八などのライブパフォーマンスが披露され、日本文化を発信するとともに、大会を華やかに盛り上げました。



### 国民的キャラクター、くまのパディントン。UK駅伝を応援





# SOCIAL IMPACT & CHARITY PARTNERS

## 第3回提携パートナー 石川県と慈善団体モルキュア

UK駅伝は、日本と英国の地域パートナーと連携し、地域社会とのつながりを大切にしながら、地方伝産品の紹介や社会貢献活動などの活動に取り組んでいます。

第2回大会では薩摩藩英国留学160周年を記念した鹿児島県、第3回大会では石川県と連携しました。豊かな文化や伝統工芸を英国に紹介するとともに、イベントを通じた日英交流を推進。石川県の魅力と復興に向けた歩みを発信し、継続的な復興支援につなげました。また英国では、コース沿線の慈善団体とも連携し、地域に根ざした活動を展開しています。



能登半島地震の被害地域への寄付



石川県の大学生2名を招待






伝産品の紹介、賞品への採用



地震で被害に遭った木材を再利用したトロフィーの制作

寄付を行った石川県珠洲市ガクソーより贈られた特別な詩は、大会参加賞のメダルに刻印されました

***With the wind and snow***
***Words become the passing sash***
***As we weave the spring***

風雪を聴き
言葉を襷に
春を編んでいく

GAXO, ガクソー

## 慈善団体パートナー - Morcure

レースコース沿いの襷中継地点であるヘンリー・オン・テムズに拠点を置く、家族経営の慈善団体MorCUREを支援しました。MorCUREは、MORC2関連疾患を抱える人々の研究とケアの推進に尽力しています。 レースにおける一歩一歩が、この希少疾患に対する認識を高め、この病気と闘う家族に希望をもたらすことにつながります。
MORCure



# INTRODUCING THE KANAKURI CUP

## “駅伝の父” 金栗四三氏の名を冠した「金栗カップ」誕生

金栗カップは、企業・地域社会部門のトロフィーとして制作されました。

英国の高級工芸ブランドLINLEYによって製作され、2026年6月2日に発表しました。能登半島地震で被害を受けた家屋の木材が使用されており、英国の職人技によって新たな命が吹き込まれました。復興への願いと日英の新たな友好を象徴するものです。

金栗カップは、日本の長距離走の発展に大きく貢献し、「日本マラソンの父」「駅伝の父」として広く知られる金栗四三氏を称えて命名されました。熊本県玉名市を通じて金栗氏のご親族と連絡を取り合い、快諾を得たことで実現しました。

6月12日、企業・地域貢献部門の優勝チームに、初めて金栗カップが授与されました。





Photo: Tamana City, Kumamoto

### 金栗四三氏について

1912年のストックホルムオリンピックに出場した日本初のオリンピック選手の一人であり、日本の陸上競技を国際舞台へと導いた先駆者でした。彼は生涯をかけて、日本における長距離走とマラソンの発展と普及に尽力しました。また、箱根駅伝の創設にも重要な役割を果たし、日本の駅伝文化において今なお象徴的な存在です。

「この度は、玉名市を通して素晴らしいお話を頂き大変名誉に思っております。

生前の金栗も若い人たちのスポーツを楽しむ姿を見るのが大好きで、地域のマラソン大会や駅伝大会に積極的に参加していたと聞いております。

祖父たちが100年前に蒔いた種が海を渡って英国の地で花を開いていることは私共親族も驚きに堪えません」

金栗氏 親族代表/蔵土伸夫氏(金栗四三氏の三女:蔵土スミ子氏の長男)

# MORE THAN ONE RACE ON ONE DAY

## 英国、日本、そして世界各地でコミュニティが拡大中

毎年6月に開催するUK駅伝をフラッグシップレースとして、年間を通じてさまざまなイベントや取り組みを展開しています。UK駅伝は、日英交流を促進するプラットフォームとして、スポーツ、文化、教育を通じ、企業や大学をはじめとする多様なコミュニティをつないでいます。



レース前夜祭タスキセレモニー
2026年6月



金栗カップ発売記念レセプション
リンリーにて　2026年6月



アシックス＆UK駅伝
シェイクアウトラン　2026年5月



レース概要説明会
2026年5月



富士フイルムでの写真展
2025年9月



サントリー ジャパニーズウイスキーテイスティング　2025年11月

# 第4回FT 日経UK駅伝

2027年6月11日（金）

多様な分野に広がる
パートナーシップ機会

メディア
スポーツ
テクノロジー
運輸
文化／教育
金融
コンサルティング
観光